

令和7年度 東京都立砂川高等学校学校経営報告（通信制課程）

1 今年度の重点目標

【教務部】		
	内 容	評価
重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教務部全体の体制見直しを図り、業務の効率化を目指す。 2. 芸術科目以外のレポートの電子化を完了させる。 3. 放送視聴等多様なメディアを利用して行う学習の実施及び見直しに取り組み、本校生徒のニーズを大切にしつつ、高等学校教育としての水準を確保する。 4. デジタルサポータと連携し、端末活用を促進し、学習面での定着を図る。 	
具体策	<ol style="list-style-type: none"> 1. 従来の教務部業務と今年度引き受けた総務部業務を組み合わせ、誰が担当しても無理なく業務を遂行できる流れを構築するため、教務部全体のコミュニケーションを図る。 2. レポートの電子化をスムーズに進められるように、業者や時間講師・レポート添削講師と連携を図る。 3. 視聴報告に関する文科省ガイドラインに準拠し、科目特性や独自性を十分活かしながら運営できるよう、各科目で見直しの取組を実施。 4. 学習活動において端末を活用する場を確保する（スクーリング時や校内での自学自習にて、一人1台端末購入対象者でない生徒へ端末貸出を躊躇なく行う）。 	
数値目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 定時退勤率 60% 2. レポートの電子化「全体の8割完了」 3. 専任科目の放送視聴対応実施率 80% 4. 一人1台端末(貸出端末)を活用した面接指導はオンライン火曜スクーリングを少なくとも年に1回以上実施した専任教員80%以上 	達成度 <div style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div>
成果と課題	<p>(成果)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 今年度の定時退勤率は約 70%であった。教務部全体の体制見直しを図り、業務の効率化を目指し、総務部の担っていた業務を従来業務に無理なく組み合わせ、通年の流れを作ることに注力した。 2. レポートの電子化「全体の8割」を完了できた。 3. 専任科目での放送視聴実施率 80%は達成できた。 4. 学習活動において一人1台端末を活用する場を十分に確保した。(スクーリング、中間課題、評価に係る判断材料・電子レポート等) <ul style="list-style-type: none"> ・一人1台端末購入対象者でない生徒へ端末貸出を躊躇なく行った。 ・一人1台端末を重点的に活用する火曜スクーリングを開講した。 5. 通信制課程における2月の前期選抜を計画し適切に実施した。 <p>(課題)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和8年度には現状の業務内容効率化について更に深堀して行く。 2. レポートを電子化することによる問題点も多く見つかった。 <ul style="list-style-type: none"> ・生成 AI から出力された文章のコピペ。 ・インターネット上の文章のコピペ。 科目の特性や「本校生徒に適した学習が取り組める」レポートを大切に、生徒にとって深い学びができるレポートとするため、そもそものレポートの在り方について令和8年度は見直していく。 3. 令和8年度から、文科省「高等学校通信教育の質の確保に関するガイドライン」に則 	

	<p>り、各教科ごとに通年の学習の中での放送視聴等をどのように位置づけるかの明示等、対外的な情報開示も進める。</p> <p>4. 端末活用（従来購入義務がなかった入学年次の生徒に対しての端末入手促進等）を更に進める。</p> <p>5. その他の新しい課題 令和8年度開始の「新たな教育のスタイル」にかかる事業（都立学校教育部）</p> <p>①ソーシャルスキル講座の実施 ②デジタルスキル講座 ③英語技能講座 ④スタディプラス（LMS）開始及びそれに関連する取組 ・探究活動の充実</p> <p>上記はすべて教務部で計画実施するが、現状はマンパワーが非常に不足している。 現在の与条件の中で業務をどのように整え、運営することが本校生徒にとっての「よりよい学び」に繋げられるのか、改めて丁寧に考える必要がある。</p>
--	--

【生活指導部】		
	内 容	評 価
重点 目 標	<p>1 特別活動の充実 2 学校や社会のルールを守る指導の徹底 3 教育相談体制の充実 4 福祉的サポート体制の充実 5 生徒が主体となる活動のサポート体制充実</p>	
具 体 策	<p>1 健康診断、校外学習等の学校行事の参加を促し、生徒の自主的・実践的な態度の育成が可能となる内容とする。</p> <p>2 全校集会、SHR、Teams 等で学校生活のルールを周知させ、安心・安全な学習環境を自ら守る意識を生徒全員に育成する。</p> <p>3 担任、スクールカウンセラー、ユースソーシャルワーカー、外部組織等で連携して多様な生徒の課題に対応する。課題の共有のために校内研修を実施する。</p> <p>4 託児室の安全安定的な運営と、ユースソーシャルワーカーや外部組織との連携により、生徒が抱える福祉的課題に取り組む。</p> <p>5 定時制文化祭への参加や部活動等を通して、生徒の自主的・主体的活動をサポートする。</p>	
数 値 目 標	<p>1 健康診断受診率 70%以上 2 スポーツ大会、校外学習、文化祭参加生徒数 のべ 55 人以上 3 教育相談についての校内研修 3 回以上 4 情報共有会 年 2 回以上 5 2 に同じ</p>	<p>達成度</p> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">A</p>
成 果 と 課 題	<p>・重点目標についてはすべて達成することができた。</p> <p>・2の参加のべ数は大きく、次年度さらに人数を大きくできるよう企画内容を検討したい。</p> <p>・校内研修は基礎的内容になるが6回実施できた。次年度は専門医による研修も行いたい。</p> <p>・次年度は探究活動の一環として行い、成果を発表できるものにしたい。</p>	

【進路指導部】		
	内 容	評価
重点 目 標	1 通信制のキャリア教育の充実 2 生徒一人一人への支援と自立意識の啓発 3 高大・高専連携の推進	
具 体 策	1 進路別模擬講義・体験授業、就職説明会、進学説明会、高専連携など進路行事を体系的に構築し、効果的な指導を実現するとともに具体的な進路選択、決定に役立つ情報を Teams など で発信しながら個別の相談活動を行い、担任の進路指導業務と連携しつつ生徒のキャリア実現を図る。 2 就職説明会・進学説明会・大学共通テスト説明会の内容をより生徒のニーズにあった内容に充実させていく。また様々な入試体系への出願指導などを実施する。 3 専門学校の高校生向け授業公開情報の提供、体験授業などへ積極的に参加を促す取り組みを Teams などにより推進する。大学・短期大学の公開授業、説明会への参加を呼びかけ、その参加を促す	
数 値 目 標	1 進学・就職説明会など出席者、延べ 120 名以上 2 卒業生の進路決定率、55%	達成度 B
成 果 と 課 題	(成果) 1 進学・就職説明会など出席者数 146 名 2 卒業生の進路決定率 60.0% (課題) 1 進路決定率の向上 上級学校への進学者数は上昇しているが、未定者（アルバイト・フリーターなどを含む）の割合を減少させる。 2 進路に関する情報（日程・手続きなど）をきちんと理解させ徹底する。	

IV 今年度の数値結果

評価項目	目標値	結果	昨年度実績
1 レポート提出率の向上	60%	59.3%	61.8%
2 スクーリング出席率の向上	70%	68.9%	69.8%
3 単位修得率の向上	全体60%、	50%	51.2%
4 教員の時間外業務	月平均10時間以内	平均1時間	平均15.7時間
5 教員の年休取得日数	平均15日以上	平均10.1日	平均17.6日
6 スポーツ大会、校外学習、文化祭参加生徒数	のべ50名	57名	55名
7 ホームページの更新回数	年間60回	85回	91回
9 卒業生進路決定率	55%	60%	47.4%
10 生徒の授業満足度	90%	90%	89.1%
11 生徒の学校満足度	90%	95%	90.6%